

Press release

2010年第2四半期 事業報告書

2010年7月14日公表

リオティント最高経営責任者(CEO)の Tom Albanese は、2010年第2四半期の生産結果を振り返り、以下の通りコメントしました。「2010年はリオティントにとって引き続き良い形になって来ており、我々の生産拠点をフル生産に近い水準で操業しています。主要商品のマーケットは堅調で、長期需要の見通しは全般的に明るいです。一方、ここ数週間、OECD 諸国経済が再び景気後退に陥ったり、中国の成長率が鈍化したりすることに対する懸念により、センチメントが弱含んでいます。このように世界経済のより大きな変動のパターンは、今後も続くと考えています。

我々がなすべき課題として、再び「成長」がしっかりと位置付けられました。我々には資金の確保を競い合う拡張や新規投資の幅広いオプションがあります。豪州資源税を巡る不確かさが大方取り除かれたため、Pilbara の操業を年間 3.3 億トンに拡張する準備として 2 億ドルの資金を投じること決めた本日の発表を皮切りに、豪州でのプロジェクトを推進していくことにしました。」

- リオティントの全世界における鉄鉱石生産量は、当四半期において前年第 2 四半期比 2%減となりました。上半期における生産量は、マーケットが世界金融危機からの回復途上であった前年同期に比べ、15%増となりました。
- Pilbara での鉄鉱石の生産量は、当四半期においては公称能力に近いレベルでの操業を続け、2010年6月末までの12ヶ月間で、2.19億トン超(100%ベース)となりました。
- 銅採鉱量及び金の生産量は、Kennecott Utah Copper 及び Grasberg において採鉱品位が低下したことにより、前年第 2 四半期比でそれぞれ 19%、34%の減少となりました。
- モリブデンの生産量は、Kennecott Utah Copper における品位の上昇により、前年第 2 四半期比 14%増となりました。
- マーケットでの需要回復に伴い、ボーキサイトの生産量は前年第 2 四半期比 10%増となり、アルミナとアルミニウムの生産量はほぼ同等水準でした。
- 今年上半期、Quebec の Saguenay 地域において降雪・降雨量が少なかったため、発電量が減少し、結果的に外部からの電力購入或いはアルミニウムの減産が必要になると見込まれます。これによる 2010年下半期の EBITDA への影響は、1億ドルと見込まれます。
- 豪州における強粘結炭の生産量は、Queensland の生産拠点への投資の増加を受けて前年第 2 四半期比 26%増となりました。豪州一般炭は、前年同期比 4%減となりました。
- ウランの生産量は ERA における鉱石の品位が低下したため、前年第 2 四半期比 28%減となりました。
- ダイヤモンド及び産業用鉱産物の生産量の回復は、複数の操業を閉鎖した 2009 年の厳しい状況と比べ、マーケットのファンダメンタルズが改善したことを反映しました。

- リオティントは、Iron Ore Company of Canada における 4.01 億ドルの拡張を再開致しました (リオティント負担分 2.35 億ドル)。この拡張により、2012 年までにコンセントレート生産能力を年間 4 百万トン増やし、2,200 万トンにすることができます。
- リオティントは、最終的な環境面での諸認可が下り次第、Michigan にある Kennecott Eagle ニッケル・銅山の建設に 4.69 億ドルを投資します。最初の生産は、2013 年末を予定しています。
- リオティントは、西豪州における鉄鉱石操業の拡張に備えるため、2 億ドルの投資を承認したことを本日発表しました。これにより、Pilbara 全体の操業能力を年間 3.3 億トン以上に増加させる計画を支えるため、Cape Lambert 港拡張の初期工事である浚渫に関する契約が結ばれることとなります。

この報告書に記載されている通貨は、別途記載がない限り全て米ドルです。同様に説明文に関しても、別途記載がない限り、リオティントの持分に関するものとなります。

企業活動

リオティントが以前発表した合計 36 億ドルの資産売却は、2010 年上半期に完了しました。この資産売却の中身は、Alcan Packaging Food Americas、Alcan Packaging の global Pharmaceuticals、global Tobacco、Food Europe 及び Food Asia の各事業部、及び Coal & Allied が売却した二つの未開発地区からなります。

2008 年 2 月以降、リオティントは、100 億ドルを超える資産売却を完了しました。

6 月 30 日、リオティントは 3.93 億ドル相当の Series A の新株予約権付社債の全てについて権利を行使し、Ivanhoe の持分比率を 29.6%まで増加しました。

7 月 5 日、リオティントは、Medical Flexibles 及び Alcan Beauty Packaging の売却取引が完了したことにより、Alcan Packaging の売却を完了したことを発表しました。

鉄鉱石

リオティント持分の生産量 (単位：千トン)

	10 年 2Q	09 年 2Q 比	10 年 1Q 比	10 年 上半期	09 年 上半期
Hamersley	29,600	-5%	-1%	59,589	+10%
Hope Downs	4,052	+47%	-0%	8,106	+82%
Robe River	7,675	-8%	+3%	15,123	+16%
IOC	2,284	-9%	+22%	4,153	-5%

マーケット

西豪州の Pilbara 地域からの第 2 四半期の販売数量は 5,600 万トン(100%ベース)となり、前期比 5%増、前年同期比 6%増となりました。単一で最大のマーケットである中国を含めた、主要なマーケットへの出荷は、生産能力またはそれに近い水準で維持され、過去 12 ヶ月の合計で 2.2 億トン超となりました。

当四半期に、年間ベンチマーク価格での値決めが行われなくなる構造的変化を受け、四半期ベースで価格を決めていくことについて、約 50%のアジアの顧客と契約書締結に到りました。その他の顧客に関しては、同じベースで仮価格での販売を行っております。(7 月 1 日からの)第 3 四半期の鉄鉱石価格は、2010 年 3 月から 5 月までのインデックス価格の平均に基づいています。

Pilbara における拡張

リオティントは、西豪州の鉄鉱石操業の拡張に備えるため、2 億ドルの投資を承認したことを本日発表しました。

この決定により、Pilbara での全体の操業能力を年間で 3.3 億トン超にまで増加する計画を支える、Cape Lambert 港の拡張計画(CLB:第 2 期)の初期工事である浚渫に関する契約が結ばれることとなります。

この浚渫作業は、Cape Lambert 港の年間能力を現在の 8,000 万トンから更に 1 億トン増やすため、1.8 キロメートルの栈橋と係留岸壁 4 つを増設することに関連しています。

リオティントの Pilbara 地区での鉄鉱石の生産能力を年間 3.3 億トンまで引き上げるための工程は以下の通りです。

完成・稼働時期	年間能力	内容(現状)
2011 年 第 1 四半期迄	2.25 億トン	Dampier 港のシステム効率化(実行中)
2012 年 第 2 四半期迄	2.30 億トン	Dampier 港処理能力増(事業化調査中)
2014 年 上半期迄	2.80 億トン	Cape Lambert 港拡張計画第 I 期： 5,000 万トン増(事業化調査中)
2016 年 上半期迄	3.30 億トン	Cape Lambert 港拡張計画第 II 期： 5,000 万トン増(予備事業化調査完了)

Pilbara における操業

Pilbara での生産は順調で、当四半期を通じて公称能力に近い水準で操業されました。上半期における生産量は、世界金融危機からの回復途上であった前年同期に比べ 19%増となりました。過去 12 ヶ月間における Pilbara の合計生産量は、2.19 億トンとなりました。

当四半期にリオティントの Mesa A 新規鉱山の能力が、フル生産の年間 2,000 万トンに向けて増加しました。Brockman4 鉱山及び Tom Price 鉱山の Western Tiner Syncline において本格的操業開始に備えての最終剥土作業及び建設作業が実施されました。この 2 つの鉱山は、7 月の最初の週より生産を開始しています。

Perth から配船計画や採掘、港、鉄道及び Pilbara におけるその他主要なインフラを管理するオペレーションセンター（従業員数：約 430 人）の運用を、6 月から正式に開始しました。

6 月 21 日にリオティントと西豪州政府は、合意書に署名しました。これは、2010 年 7 月 1 日より適用となりますが、その中で、全鉱山から生産される粉鉱に対するロイヤルティの増加に関する（売上に対して従来の 3.75%から 5.625%への変更）もの、Pilbara における鉄鉱石の採掘やインフラの操業を、拡張の面もしくは新たな 2 次加工投資の面において、より弾力的にかつ効率的に行える事を可能にするものがあります。

6 月 30 日にオーストラリア競争特別委員会(Australian Competition Tribunal: ACT)が、リオティントのビルバラ地区における一連の操業の大動脈である Hamersley 鉄道、それは全 12 の鉱山のうち 10 の鉱山を港湾までつないでいるのですが、第三者による利用へ開放すべきだとする申し立てを却下いたしました。また ACT は、Mesa A 鉱山から Cape Lambert 港までの Robe River 鉄道は、2018 年までは(第三者も)利用できるとなりました。

Iron Ore Company of Canada (IOC)

第 2 四半期の IOC では、コンセントレートの生産に占める最終製品としてのペレットの生産比率が高かったため、全体の生産量が 9%減少した結果となりました。これはコンセントレートから、より付加価値の高いペレットに加工する際、重量ロスが発生してしまうためです。第 2 四半期におけるペレット生産は、6 基の全ての炉が操業するフル生産体制に戻ったため、前年同期と比較して 55%増となりました。これにより、コンセントレートよりも利益幅の大きなペレットの需要が増加し、第 2 四半期におけるコンセントレートの生産は、60%減となりました。

5 月にリオティントは、IOC のコンセントレート年間生産能力を 2012 年までに年間 4 百万トン増やし、2,200 万トンにする 4.01 億ドル(リオティント負担分 2.35 億ドル)の拡張計画を再開しました。更に、コンセントレートの年間生産能力を 2,600 万トンまで増やす計画が進行中です。

HI Smelt

世界の銑鉄価格の低迷により、西豪州の HI Smelt 銑鉄生産設備は、引き続きケア & メンテナンス中です。

2010 年生産目標

2010 年のリオティントの全世界(豪州・カナダの操業)における鉄鉱石生産量は、およそ 2.34 億トン(100%ベース)を見込んでおります。

銅

リオティント持分の生産量 (単位：千トン/金=千オンス)

	10年2Q	09年2Q比	10年1Q比	10年上半期	09年上半期
KUC					
銅採鉱量	54.8	-36%	-11%	116.1	-28%
銅地金生産量	59.6	-8%	-15%	129.7	-3%
モリブデン	2.8	+14%	-13%	6.0	+34%
金採鉱量	110	-31%	-30%	267	-7%
金地金生産量	146	+30%	-16%	320	+46%
Escondida					
銅採鉱量	81.0	+6%	+11%	153.8	-0%
銅地金生産量	23.1	-10%	+22%	41.9	-15%
Grasberg JV					
銅採鉱量	13.8	-45%	+3%	27.2	-46%
金採鉱量	26	-65%	-32%	64	-48%

Kennecott Utah Copper

銅精鉱中の金、及び銀の生産量は鉱石の品位低下により、全ての期間と比較して減少しました。モリブデン鉱石の品位上昇及び選鉱場の浮遊選鉱工程を最適化する日々の努力の結果、生産量は前年同期比 14%増となりました。モリブデンの生産量は、第1四半期と比較すると鉱石の品位が減少したため減少しました。上半期における Copperton 選鉱場の処理量は過去最高となり、2009年の過去最高値を超えました。

製錬された銅精鉱及び銅地金の生産量は、全ての期間と比較して減少しました。これは第2四半期において、予定されていた製錬所における 19日間の炉修によるものですが、炉修は無事に完了しました。金地金と銀地金の生産量は、2009年末に粗鉱品位が上昇したため、前年同期と比べて増加しました。

Escondida

第2四半期における銅採鉱量は、粗鉱品位の上昇及びリーチング用鉱石の銅品位が上昇したため、前年同期比 6%増となりました。

銅地金の生産量は、主にメンテナンス作業及び安全手順の改善による生産量の段階的向上により、前年同期比 10%減となりました。

Grasberg

Freeport の第2四半期の事業報告書については、2010年7月21日に公表される模様です。Freeport の予測データによると、第2四半期の合弁事業による銅及び金のリオティント持分は、鉱石の品位と選鉱場の処理量が共に減少したことが影響を与えました。

Eagle

リオティントは、最終的な環境面での諸認可が下り次第、米国 Michigan にある Kennecott Eagle ニッケル・銅山の建設に 4.69 億ドルを投資します。鉱山及び選鉱場の建設は、今年より開始し、最初の生産は 2013 年末を予定しています。この鉱山は、ニッケル及び銅精鉱を生産し、年間平均でそれぞれ 17,300 トンと 13,200 トンが 6 年に渡り生産される予定です。

Oyu Tolgoi

6月30日において、リオティントは 3.93 億ドルの Series A 社債（ワラント債）の全てについて権利を行使し、Ivanhoe の持分比率を 7.3%増やし、29.6%まで増加しました。Oyu Tolgoi の生産は 2013 年開始予定で、フル生産までに 5 年間かかります。

暫定価格

リオティントグループの当四半期末において、2.39 億ポンドの銅の売上高が、ポンドあたり 296 米セントの暫定価格を用いて計上されました。これらの売上高の最終価格は、2010年の下半期に決定されます。

因みに、2009年12月31日の時点では2.78億ポンドが、ポンドあたり335米セントの暫定価格で計上されていました。

2010年生産見通し

リオティントの2010年における銅採鉱量及び銅地金の生産目標は、それぞれ69万トンと38万トンとなる見通しです。

アルミニウム

リオティント持分の生産量

(単位：千トン)

	10年2Q	09年2Q比	10年1Q比	10年上半期	09年上半期
Rio Tinto Alcan					
Bauxite	7,945	+10%	-4%	16,190	+14%
Alumina	2,240	+5%	+1%	4,451	+3%
Aluminium	952	+1%	+2%	1,889	+0%

ボーキサイト

第2四半期のボーキササイトの生産量は、前年同期比10%増となりました。これは、第三者からの需要が増加したことにより、Weipa及びSangarediにおける生産量が増加したためです。

アルミナ

第2四半期におけるアルミナ生産量は、主としてVaudreuilアルミナ精製所において減産がなされていた昨年の同四半期比で5%増となりました。同精製所での減産は、2009年第4四半期に解除されました。

アルミニウム

第2四半期のアルミニウム生産量は前年同期比1%増となりました。これは、総じて市場環境に対応した動きによるものであり、NZASにおいて2009年での変圧器事故による減産から生産が回復したこと、操業中の英国の各製錬所が徐々にフル生産まで戻ってきたことによるものですが、一部はAnglesey製錬所での操業停止により相殺されました。

今年上半期、QuebecのSaguenay地域において降雪・降雨量が少なかったため、発電量の減少が見込まれます。これにより、今後12ヶ月のうちに、マーケット状況に応じて、外部から電力を購入する、或いは減産することが必要になると見込まれ、2010年下半期のEBITDAへの影響は、約1億ドルと見込まれます。

7月には、QuebecのLaterrière製錬所にて、変圧器2基の故障に起因する重大な停電が発生したことにより、フル操業のための十分な電力を確保できなくなりました。この製錬所は、現状、生産能力(年間235,000トン)の半分で操業しています。

2010年生産見通し

リオティントの2010年におけるアルミナ及びアルミニウムの生産は、それぞれ940万トンと370万トンになる見通しです。

エネルギー

豪州石炭

リオティント持分の生産量

(単位：千トン)

	10年2Q	09年2Q比	10年1Q比	10年上半期	09年上半期
RTCA ¹					
強粘結炭	2,395	+26%	+29%	4,254	+30%
その他石炭 ¹	5,530	-4%	+14%	10,393	-6%

¹ RTCA (Rio Tinto Coal Australia)

Queensland州の石炭操業における強粘結炭の生産量は、投資の増加により、前年同期比26%増となりました。Hail Creekにおいては、より歩留まりが高い炭層により採炭量が増加し、又、大型の移動機器が追加により恩恵を受けました。一方で、Kestrelにおいても、設備の故障が少なかったことや稼働率の上昇により、生産量が増加しました。

一般炭及び非微粘結炭の生産量は、主に Blair Athol が年間 300 万トンまで生産量が下がってきた為、前年同期比 4%減となりました。これは、Clermont の生産量が段階的に増加し、当四半期において最初の 50 万トンを生産したことで、一部は相殺されました。

2010 年生産見通し

リオティント持分の 2010 年における豪州強粘結炭、非微粘結炭、および一般炭の生産目標は、それぞれ 940 万トン、330 万トン、そして 1,970 万トンとなる見通しです。

米国一般炭

リオティント持分の生産量

(単位：千トン)

	10 年 2Q	09 年 2Q 比	10 年 1Q 比	10 年上半期	09 年上半期
US Coal	11,143	-47%	+11%	21,216	-50%

上図には、リオティントが 2009 年 11 月に実施した株主変更 (Cloud Peak Energy の IPO) が反映されています。

ウラン

リオティント持分の生産量

(単位：千ポンド)

	10 年 2Q	09 年 2Q 比	10 年 1Q 比	10 年上半期	09 年上半期
ERA ¹	1,196	-45%	-12%	2,557	-37%
Rössing	1,432	-2%	+7%	2,768	-6%

¹Energy Resources of Australia

ERA における第 2 四半期の生産量は、採掘活動の問題により平均品位が低い箇所を掘らざるをえなかったことが影響し、これは、雨季の後半に通常よりも降水量が多かったこと、又、第 3 ピットの南壁において不安定な箇所があったことが関連しています。

エネルギーの評価プロジェクト

2010 年上半期において、リオティントの子会社である Coal & Allied は、2 つの未開発石炭プロジェクト (Vickery / Maules Creek) を売却しました。この売却益については、エネルギーの評価プロジェクトの基礎的当期純利益 (underlying earnings) の内訳として認め、税前 4.35 億ドル / 税後 2.3 億ドル (少数株主持分込み) を想定しています。

ダイヤモンド及び産業用鉍産物

リオティント持分の生産量

(単位：千トン / ダイヤモンド = 千カラット)

	10 年 2Q	09 年 2Q 比	10 年 1Q 比	10 年上半期	09 年上半期
ダイヤモンド					
Argyle	2,605	+538%	+3%	5,136	+7%
Diavik	967	+13%	+3%	1,905	-1%
産業用鉍産物					
ホウ酸塩	136	+72%	+22%	+247	+30%
酸化チタン原材料	355	+7%	+8%	+684	+4%
タルク	264	+18%	+10%	+504	+18%

2009 年第 2 四半期に、Argyle の加工工場で炉修による操業停止を行いました。操業が再開し生産量は通常の水準まで回復しました。

Diavik において当四半期に加工された鉍石は、前年同期比 37%増となりましたが、品位が劣る A418 pipe からの鉍石の比率が上昇したため、カラットの生産量では 13%の増加に留まりました。2009 年に経済後退により生産の規模を縮小する操業を行いました。

引き続き堅調なアジアにおけるホウ酸塩の需要や自動車分野の回復によるタルクの需要の回復といった市況の回復に伴い、産業用鉍産物の生産量は改善してきました。前四半期においては、産業上の混乱による悪影響を受け、計画通りの在庫削減を実施しましたが、当四半期のホウ酸塩の生産量は、立ち直りました。

市況の回復が反映され、酸化チタン原材料の当四半期生産量は改善しました。これには Quebec で加工される QMM の鉍石 (Madagascar 鉍山) も含まれます。

探鉱及び評価

2010 年上半期の探鉱及び評価の税前及び資産売却前費用は、前年同期の 2.42 億ドルに対し、損益勘定に 2.14 億ドル費用計上されました。2010 年上半期において、リオティントグループは、前年同期の 7,300 万ドルに対し、税前で 6,700 万ドルの探鉱所有地(本社勘定探鉱鉱区)の売却を実現しました。

探鉱ハイライト

ブラジルの Amargosa ボーキサイトプロジェクトにおいて、初期的事業価値の検討が開始されました。現状の活動は、鉱脈のモデル化を進めることに焦点をあてています。

カザフスタンにおいて、Tau-Ken Samruk 公社と銅やその他の鉱物の探鉱に係る協同事業の形成に係る、法的拘束力を持たない覚書 (MOU) を締結しました。

今期の活動をまとめた表は以下の通りとなります。

商品事業部	進行したプロジェクト	新規プログラム
アルミニウム	Amargosa、ブラジル	豪州、ブラジル、ガイアナ、ラオス
銅	銅：Bingham Orbit、米国 ニッケル：Tamarack、米国	銅：チリ、米国、ペルー、ロシア、カザフスタン ニッケル：モザンビーク、南アフリカ、カナダ
ダイヤモンド及び産業用鉱産物		ダイヤモンド：インド、カナダ、コンゴ民主共和国
エネルギー	石炭：Altai Nuurs、モンゴル Bowen Basin、豪州 ウラン：Rössing、ナミビア	石炭：タンザニア ウラン：ヨルダン
鉄鉱石	Pilbara、豪州	コンゴ民主共和国、カナダ

鉱山リースによる探鉱については、Kennecott Utah Copper、Eagle、Northparkes、Energy Resources of Australia、Rössing、Diavik、及び Pilbara Iron を含む、リオティントの数多くの事業で引き続き行われています。

予備事業化調査 (pre-feasibility work) 又は事業化調査 (feasibility work) については、Resolution (銅・モリブデン、米国)、La Granja (銅、ペルー)、Bunder (ダイヤモンド、インド)、Simandou (鉄鉱石、ギニア) 及び Pilbara 鉄鉱石鉱床を含むリオティントの数多くのプロジェクトで成果をあげています。

リオティントについて

リオティントは、世界で有数の国際的な資源会社です。イギリス上場の Rio Tinto plc と豪州上場の Rio Tinto Limited が、二元上場会社リオティントとして形成され活動しています。

我々の事業は、鉱物資源の探鉱・採鉱・加工を行うことです。主要商品は、アルミニウム・銅・ダイヤモンド・エネルギー(石炭・ウラニウム)・金・産業用鉱産物(ホウ酸塩・酸化チタン原材料・工業用塩・タルク)及び鉄鉱石です。

活動拠点は全世界に広がっていますが、特に豪州及び北米を舞台に活動しており、南米、アジア、欧州、及び南アフリカで重要なビジネスがあります。

【本件に関するお問い合わせ先】

EMEA / 南北アメリカ

Media Relations

Tony Shaffer

電話：+44-20-7781-1138

携帯：+44-7920-041-003

Christina Mills

電話：+44-20-7781-1154

携帯：+44-7825-275-605

カナダ

Media Relations

Bryan Tucker

電話：+1-514-848-8151

携帯：+1-514-825-8319

ロンドン

Media Relations

Mark Shannon

電話：+44-20-7781-1178

携帯：+44-7917-576-597

David Ovington

電話：+44-20-7781-2051

携帯：+44-7920-010-978

豪州 / アジア

Media Relations

David Luff

電話：+61-3-9283-3620

携帯：+61-0419-850-205

豪州

Media Relations

Dave Skinner

電話：+61-3-9283-3628

携帯：+61-408-335-309

Simon Ellinor

電話：+61-7-3361-4365

携帯：+61-439-102-811

北米

Investor Relations

Jason Combes

電話：+1-801-204-2919

携帯：+1-801-558-2645

ウェブサイト：www.riotinto.com

メール：media.enquiries@riotinto.com / enquiries.mediaaustralia@riotinto.com

高画質な映像及びメディアパックは下のリンク先より参照可能です：

<http://www.riotinto.com/media>

日本

財務業務部

植松 健

電話：03-3222-2440

携帯：090-4012-5960

メール：Ken.Uematsu@riotinto.com

大木 龍

電話：03-3222-2440

携帯：090-8847-0607

メール：Ryo.Ohki@riotinto.com

※当資料はリオティントの Second quarter 2010 operations review (2010年7月14日公表)の日本語版です。細心の注意を払い作成していますが、あくまでも英語版が正式なレポートである点、ご理解頂いたうへでご利用下さい。

また、生産データは割愛させていただきますので、英語版をご参考下さりますようお願い申し上げます。

英語版のダウンロードはこちらから

http://www.riotinto.com/documents/100714_Second_quarter_2010_operations_review.pdf